

# ぽぽデイだより NO.123 令和5年5月号

社会福祉法人 ほっとスマイル  
ぽぽデイ名塩駅前 669-1133 西宮市東山台 1-1(1階) TEL0797-62-1165

## 施設長より

たくさんのお休みが続くゴールデンウィークです。爽やかな季節、みなさんはどこかにお出かけされるのでしょうか？ぽぽデイの子どもさんたちと過ごす連休の合間の5月2日も、明るい日差しの中で、楽しい一日になりました。あちらこちらで笑い声が溢れています。学校とご家庭、ぽぽデイでのそれぞれの役割を意識して今日を過ごしました。

ぽぽデイでは、子どもさんたちが本当にたくさん大人に話しかけてくれます。人によっては言葉にならない声で、視線や表情で、コミュニケーションボードで、イエス・ノーのサインで、時にはじゃんけんサインで。

今年度から言語聴覚士の岡本千智がスタッフとして参加していますが、彼女の言葉を借りるまでもなく、言語の発達のためには伝えたいという思いが必要。大人にまずはそれを楽しく聞きます。時には一方的に話続けられるときもありますが、そんな時は、「次は私の番ね。」「ねえ、私の話も聞いて。」と楽しい雰囲気を作ることなく、さりげなく会話が続きます。児童指導員として経験を積んだ職員のスキルと子どもさんとの信頼関係を感じる時です。逆に、かまわれたくないという雰囲気を身体全体で表している子どもさんには、みんなの声が聞こえながらも、邪魔されない場所を確保して、タイミングを見計らい職員がそっと声をかけます。信頼できる職員の声かけには応答してもらえるので、共通の話題でそのままやり取りが続きます。

新聞のコラムに AI と雑談力についての文章がありました。人工知能との会話について研究している福知山公立大副学長の西田豊明さんは、チャット GPT との会話は単なる情報のやりとりであって雑談ではないとのこと。人とチャット GPT の違いは「個」があるかどうかだということです。人にはそれぞれ歴史があり、相手との関係を深めるということは、互いに共有の歴史を積み上げていくことだと。雑談をしている間、私たちは無意識に相手の人間性を感じ取っている。雑談の目的の一つが相手を知ることだとしたら、「個」がない相手のことを掘り下げることができないし、そもそも関係性を発展させることはできないとのこと。雑談を続けるには相手のことを知りたいという人に対する関心が必要という内容でした。

これからの子どもたちは AI を使う社会に生きていきます。しかし社会は人との関係なしには成り立ちません。雑談のようなやり取りや会話の中で、人とコミュニケーションが楽しいと感じ、どんな方法でもいい、自信を持って人と関わって欲しいと思います。ぽぽデイの職員と子どもさんとの共有の歴史が、心理的安心基地となり、子どもさんの社会を広げるための礎の一つとなることを願って。

## 児童発達支援 いちご組

4月になり、新しいお友達が増えました。はじめはどんなお友達かじっと様子を見て、大人に「お名前なんて言うの？」と聞いたり、お友達が遊んでいる様子を見て「〇〇さん何してるのかなあ」とお友達に興味を持ってきていました。しばらく一緒に時間を過ごすと、お友達が片付け残したものをみつけて、「僕が片付けてあげるね」と言ってまだ慣れていないお友達のお手伝いを自分からしてくれるお友達の姿もありました。これから、いっしょに過ごす中で、

お友達のいいところを見つけて、やりとりを広げていってほしいと思います。5月も楽しく元気いっぱいいろいろな体験をしてもらいたいと思います。



## 放課後等テイサービス

朝昼の寒暖差が大きくなり、体調を崩されるお子さんがちらほら見られます。健康第一にぼぼデイに元気な顔で今月も通ってもらえたらと思います。

ぼぼデイでも新しいメンバーや中高生は1階をメインに過ごしたりと、新しい環境にも少しずつ慣れ、のびのびと過ごしてくれています。新中学生は、制服姿で室内で過ごしていますが、凛々しい姿に関心したのは大人ばかりで、本人や周りのお友達はいつも通りの様子でした。きっとお子さんたちは、見た目よりもお友達自身や中身を見ているのだろうと感じました。今月もお友達と関りながらコミュニケーションを広げたり、人と関りながらいろいろな経験をもらえたらと思います。



## スタッフの一言

「ぼく5歳になったんだ」・・・食べられなかったお野菜をペロリとたべれるようになりました。「ぼくお兄ちゃんになったから幼稚園とぼぼ2つ行くよ」・・・トイレでおしっこできるようになりました。お子さんの強い決意。大人は敵いません。お母さま方のお子さまへの愛を感じながら、幸せな時間をすごせて頂いています。

中山

新学期が始まり1か月がたちました。〇〇部に入る。〇〇委員会に入る。友だちと離れてしまった。勉強が大変だと、子供たちがいろいろと話を聞かせてくれます。環境の変化に敏感な子もいます。気持ちに寄り添いながら、日々楽しく過ごせるように関わっていきたく思います。

笹川